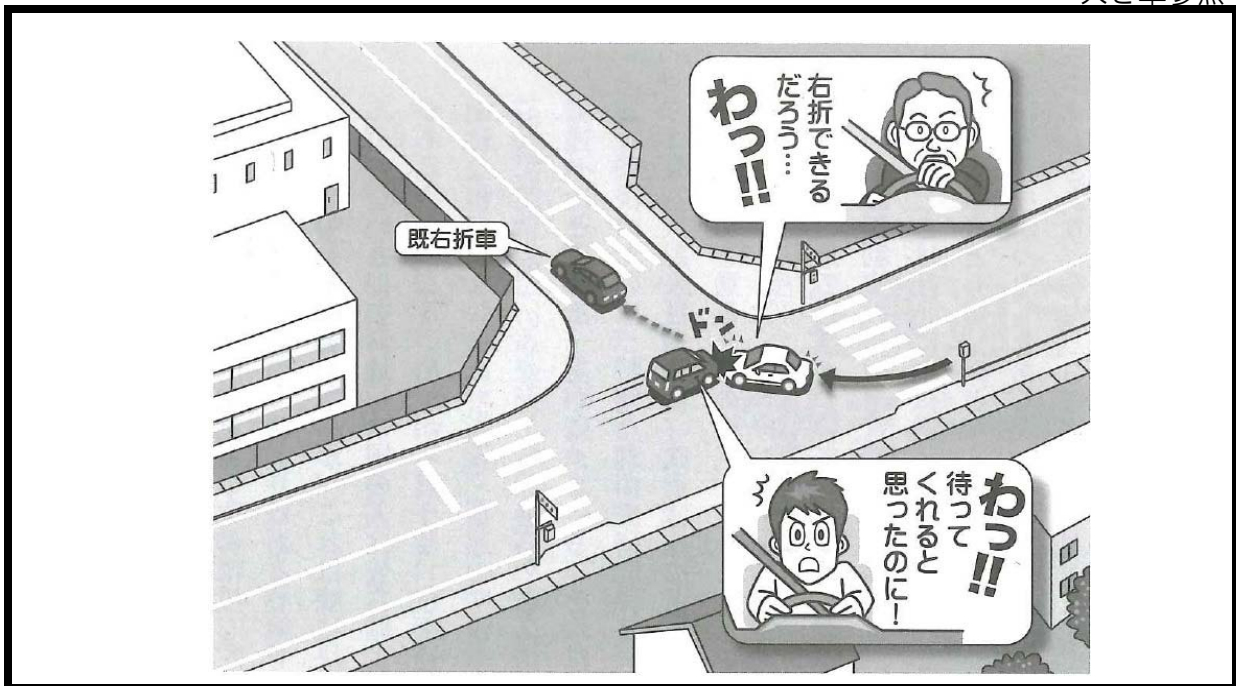


■事故の概況

人と車参照



事故類型：車両相互

発生日時：土曜日 午後3時頃

当事者A：普通乗用車 60歳代 男性

当事者B：普通乗用車 30歳代 男性

■ 事故の概要

Aは片側1車線の信号のあるT字路交差点で、前車に続いて右折しようと停止していました。前車が右折しはじめたので、対向車線を走行してくるBの車両をチラッと見て、続いて右折できると思い右折を開始したところBと衝突しました。

Bは速度制限が時速約40kmの道路を、時速約60kmの速度で走行していました。前方の交差点を右折する車両の後に、Aの車両がいることに気付いていましたが、こちらを認識しているだろうから通過するまで止まっていると思い、減速せずに交差点を通過しようしました。その時、右折してきたAと衝突してしまいました。

■ 事故から学ぶ

Aが対向車線を走行するBの速度を見誤り、右折する前車に続いて交差点を右折しはじめたことが原因です。交差点を右折する場合、対向する車線を横切ることになるので、対向車の状況を正しく把握することが必要です。対向車との距離や速度を考慮して、少しでも危険だと思える状況ではけっして無理をせず、安全な状況で右折するようにしましょう。

Bの速度の出しすぎも事故の一要因となっていると考えられます。速度超過は、自車の安全確認に支障をきたすだけでなく、相手の状況判断を誤らせる要因にも繋がります。交差点で右折中の車両がいたら、その後ろや陰から続いて、右折してくる車両がいるかもしれないと防衛運転に徹することが大切です。

交差点は様々な安全確認と正しい判断が求められる場所であることをこの事故事例から再確認しましょう。